

# 平和都市ピロシマから 戦争法案反対の声を！

日本共産党  
6月議会

一般質問を行った中森辰一議員は、まず戦争法案への市長の態度を質しました。

①これまで行けないとしていた「戦闘地域」まで自衛隊を行かせ、戦闘になれば武力の行使を行うこと、②3500人の戦死者を出したアフガニスタンの治安維持活動と同様の活動に参加させる可能性を首相が否定しなかったこと、③アメリカの戦争には、国際法違反の先制攻撃の戦争でも参加を否定しなかつたことなど、戦争法案の危険性と憲法に違反することを指摘しました。市長は答弁に立たず、市民局長が「国会議員が熟議を重ねていただく」とが大切」と答弁しました。これでは平和都市の

安全保障関連法案の慎重な審議を求める意見書案の賛否  
賛成14/反対39 ※永田議長(中区)は採決に加わりません

中区	近松 里子	○	安佐南区	藤井 敏子	○
	木山 徳和	×		石橋 竜史	○
	星谷 鉄正	×		土井 哲男	×
	馬庭 恭子	○		海徳 裕志	×
	森本 健治	○		谷口 修	×
東区	村上 厚子	○	安佐北区	安達 千代美	×
	碓井 法明	×		碓氷 芳雄	×
	森島 秀治	×		八條 範彦	×
	山路 英男	×		種清 和夫	×
	佐々木 壽吉	×		竹田 康律	×
南区	平木 典道	×	安芸区	今田 良治	×
	中原 洋美	○		西田 浩	×
	元田 賢治	×		若林 新三	○
	中本 弘	×		山内 正晃	○
	渡辺 好造	×		木島 丘	×
西区	酒入 忠昭	×	佐伯区	伊藤 昭善	×
	八軒 幹夫	×		木戸 経康	×
	中森 辰一	○		熊本 憲三	×
	豊島 岩白	×		沖宗 正明	○
	大野 耕平	×		金子 和彦	×
	山田 春男	×		三宅 正明	×
	原 裕治	×		藤田 博之	×
	平野 太祐	×		児玉 光禎	×
	太田 憲二	○		米津 欣子	×
	山本 昌宏	○		宮崎 誠克	×
	定野 和広	×		桑田 恭子	○
				森野 貴雅	×

議案提案権を活用

## ムダな巨大開発止めよ！

子どもたちの医療費補助制度は、中学3年生までの年齢拡充を検討する」と答弁

市長の資格が問われます。

心部分に、酒席を提供するかき船かなわの新設問題について聞きました。

公約実現へ奮闘！

子どもの医療費補助制度は、中学3年生までの年齢拡充を検討する」と答弁

子どもの医療費補助制度は、子育て支援制度の柱として、いまや中学3年生まで補助するのが全国の流れですが、広島市は政令市でも県内でも最低水準です。年齢拡充を求める質問に、市は「検討する」と

一步踏み込んだ答弁をしました。所得制限の引き上げや一部負担の強化とセットの年齢拡充でなく、子どもの医療費無料化にむけて、引きつづき奮闘します。



一般質問を行う  
中森たついち議員

(6月22日、本会議場)

市議会は  
「慎重審議」  
でも否決

一方、議会は、戦争法案の「慎重審議」を求める意見書案を反対39、賛成14（左表参照）で否決。「廃案」を求める意見書を採択した自治体もあるな

か、被爆地ヒロシマの市議会は「慎重審議」でさえ採択できませんでした。

か、被爆地ヒロシマの市議会は「慎重審議」でさえ採択できませんでした。

本イコモス国内委員会も、深刻な懸念の声明を発表しています。市は「法令上問題がない」という答弁を繰り返すばかり。「鎮魂と祈り」の空間に、「にぎわい」だといつて料亭を原爆ドームのすぐ近くに造らせるのは被爆者の尊厳を傷つけるものです。

世界遺産を損なう  
かき舟（料亭）  
移転を推進する市長

次に、人類への犯罪を告発する「負の世界遺産」原爆ドームを守るバッファーゾーン（緩衝地帯）の中



かき舟「かなわ」

松井市長の見識が問われます。

高速5号線に新たに税金投入  
予算削除の修正案を提案

広島高速5号線は、緊急性も必要性も採算性もない、災害を誘発する危険な高速道路です。市は「安全対策」の名目で、二葉山トンネル直上の土地を、避難口を整備するとして買収する3億円余の予算案を提出。日本共産党市議団は、この予算は必要なしと、議案



第91号 2015年6月  
発行／日本共産党広島市会議員団  
〒730-8586  
広島市中区国泰寺町1丁目6-34（市議会内）  
TEL 082(244)0844 FAX 082(244)1567  
Eメール：k-shigi@jcp-hiroshima.jp

日本共産党広島市会議員団の活動を紹介します。  
この議会報告は政務活動費を使って作成しています。

## 文教委員 近松さとこ(中区)

### 教科書展示会に「意見箱」を！



☎ 221-0708

今年は中学教科書を採択する年です。広く市民の声を聞くため、文科省も通知を出して意見箱の設置を推奨しています。県内 14 市のうち設置していないのは、本市をはじめ 4 市のみです。

4月から教育委員会制度が変わり、首長の権限が強められました。しかし、これまで通り教科書採択などは教育委員会の権限であり、首長は介入できないことを確認しました。

## 建設委員 藤井とし子(安佐南区)

### 二葉山トンネルは地盤沈下の危険性



☎ 847-0170

- 5号線二葉山トンネル中央部分での階段式避難口整備は、トンネル直上の盛土団地の地盤沈下や土砂災害の危険性をより高めます。安全性や採算性からも、トンネル建設そのものの中止を求め、避難口整備関連補正予算に反対しました。
- 被災者支援の拡充と復興まちづくりは、住民合意で進めることを求めました。

## 経済観光環境委員 村上あつこ(東区)

### シャレオの借金、返済の見通しはあるのでしょうか？



☎ 261-5116

市は紙屋町地下街「シャレオ」に 66 億 7,200 万円を貸し付けていますが、完済されるのは 2087 年。実に 72 年後という非現実的な計画です。昨年度はテナント賃料の減収で赤字決算が報告されました。健全経営とあわせて、税金を投入していることを踏まえ、テナントの選定には節度を持った業種になるよう求めました。

## 厚生委員 中森たついち(西区)

### 命と暮らしを守るために奮闘



☎ 293-3563

- 「子どもの医療費補助を中学 3 年生まで拡大を」「西部療育センターの給食は直営で」「福島第二保育園を廃園にしないで」「安佐市民病院は現地に建て替えを」の請願の紹介議員として、採択に向けた質疑を行いました。また、大腸がん健診、胃がん健診、被爆者のがん検診をより受けやすくする立場で改善を求めました。

## 総務委員 中原ひろみ(南区)

### あまりに非常識な被爆継承に抗議



☎ 890-2266

「世界遺産原爆ドームのバッファーゾーン内」へのかき船の移転に当たり、事業者に新たな平和発信の取組をさせるとして、平和資料館の展示資料である被爆した小学生の焼け焦げたお弁当箱（「しげる君のお弁当」）をメニューに再現し、修学旅行生に提供するとの資料を市が作成。これは被爆者への冒涜です。中止すべきと求めました。

8.20  
土石流災害

## 被災者に寄り添った支援と 復興まちづくりを

- ①災害復興の第 1 は住まいの再建です。昨年 8 月の豪雨土砂災害の安全対策として、国は八木緑井地域に 25 基の砂防ダム建設を決めました。立ち退き世帯の国の補償額が少なく、住宅再建できない問題を指摘し、県、市で独自の支援を求めました。
- ②仮住宅の期限が 1 年延長されましたが、機械的に切り捨てるしかないよう求めたのに対し、市は、「今後も状況を把握しながら、移転先などの紹介などもしていく」と答えました。
- ③市の復興計画の中心となる長束八木線（都市計画道路）は 160 世帯もの立ち退きをもとめる一大事業です。都市計画道路がいるかどうかを含めて、改めて、住民参加で議論を始めるよう求めました。



佐伯区  
給食センター

## 12,000 食の給食工場 「民間へ丸投げ」やめよ！

五日市の 3 センターを廃止し、小・中 22 校 12000 食の給食を民間給食工場へ委託して、15 年間に 75 億円（建設費 24 億円・人件費など 49 億円相当）を支払う完全民営化計画が進んでいます。

- ①これまでのような正規の栄養士が配置できません。
- ②あらたに食材の調達を民間給食業者に委ねます。
- ③全国で、民間給食工場へ委託している完全民営化（デリバリー弁当給食を除く）は、3 市だけです。

「子どものためではなく、業者のもうけ最優先になるやり方はやめよ」とせまりました。

学童保育

## 276 名の待機児発生！ 夏休み対策を急げ！

今回の補正予算案で、学校内の空き教室活用やプレハブ設置、民間学童保育を募集して、24 学区で増設する計画を打ち出しました。しかし、早くても実現するのは、秋口となり全体では年明けです。夏休みだけの臨時入会の受け入れが緊急の課題です。また、指導員の募集をすすめますが、欠員が埋まらない状況にあり、処遇改善も待ったなしです。市教育委員会の責任が問われています。

## 請願を紹介しました

- ◆警報機・遮断機の設置を求めるについて
- ◆五日市北地区学校給食センターと五日市中央地区給食センターの建て替えに伴う民間委託見直しを求めるについて
- ◆広島市西部こども療育センターの給食の直営を維持することについて
- ◆広島市立ふくしま第二保育園の廃園計画の見直しを求めるについて
- ◆広島市立安佐市民病院の現在地に建て替えを求めるについて
- ◆放課後児童クラブの待機児童をなくすことについて
- ◆子ども医療費助成制度の年齢拡充を求めるについて